

無蔵念佛節

本調子

五	尺	工	工	四	上	尺	工	尺	工	五
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

工	工	四	工	五	工	合	尺	工	尺	工
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

七	五	尺	工	五	尺	上	工	五
---	---	---	---	---	---	---	---	---

尺	工	五	工	尺	上	尺	工	尺	上	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

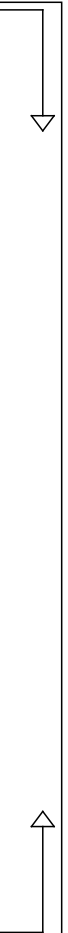
乙	合	四	上	尺	工	五	下	尺	上	尺
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

上	四	老	四	四	上	尺	合	合	吐
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

尺	下	尺	工	工	上	老	四	四	合	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

上	尺	上	四	工	乙	合	尺	合	四	上	尺
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

工	五	尺	工
---	---	---	---



無蔵念佛節

本調子

一、親（ウヤ）ぬ ヤウ 御恩（ウグヌ）は 深きむぬ 父御（チチグ）ぬ 御恩（ウグヌ）は 山高（ヤマタカ）さ 母御（フアフアグ）ぬ 御恩（ウグヌ）は 海深（ウミフカ）さ
「親の御恩は深きもの、父上の御恩は山よりも高く、母上の御恩は海よりも深いものである」

二、山（ヤマ）ぬ ヤウ 高さやさ わかりん 海（ウミ）ぬ ヤウ 深さんさ わかりん 昼（ヒル）や ヤウ 父御（チチグ）ぬ 足（タラシ）が上（ウイ）
「山の高さは、測り知る事ができる、海の深さも測り知る事が出来る。昼は父上の脚の上で」

三、扇子（オウジ）ぬ ヤウ 風（カジ）に ヤウ あがりてい夜（ヨル）や ヤウ 母御（フアフアグ）ぬ 懐（フトウクル）に 十重（トウヤイ）む 二十重（ハタイ）む 衣装（ウチ）が内（ウチ）

四、濡（ヌ）りる ヤウ 方（カタ）に は 母（フアフア） ゆくてい 乾（カワ）く ヤウ 方（カタ）には 子（クワ）寝（ニ）してい 諸共（ムルトウム）濡（ヌ）りりば 胸（ムニ）が 上（ウイ）

「扇の風に、扇がれて、夜は母上の懐に、十重、二十重の衣装の内側に」

「濡れた所には、母上が寝て、乾いた所には、子供を寝かせ、諸共に濡れると、母上の胸の上に寝かし」

五、くり程（フドウ）親（ウヤ）に ヤウ 思（ウム）わりてい年（トウシ）や ヤウ 二十歳（トウハタチ）なゆりどうむ 親（ウヤ）ぬ ヤウ 御恩（ウグヌ）は 未（マ）だ 知らん

「これほど親に、大切に思われて、年は二十歳にもなっているが、親の御恩は、未だ知らない」